Panasonic®

取扱説明書　設定支援ソフト

デジタルマルチプロセッサー

品番　WZ-DM304

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

はじめに

概要

設定支援ソフト（以下、本ソフトウェア）は、デジタルマルチプロセッサー WZ-DM304（以下、本体）の設定データの編集・表示をパーソナルコンピューター（以下、PC）で行い、本体の設定データのバックアップをPCからシリアル通信を経由して行うためのソフトウェアです。
本ソフトウェアで、本体の設定内容を一括して送信・受信できます。オンライン状態にすると、本体の設定内容を部分的に更新することもできます。

取扱説明書について

本書ではMicrosoft® Windows® 7 Professionalをご使用の場合を例に説明しています。
ほかのOSをご使用の場合やOSの設定によっては、画面表示が異なる場合があります。
その他のOSをご使用の場合、該当するOSの取扱説明書をお読みください。

必要なPCの環境

本ソフトウェアは以下のシステム環境を持つPCで使用できます。

メモ
- 本ソフトウェアを動作させるには、Microsoft® .NET Framework 4.0が必要です。本ソフトウェアをインストールするときに同時にインストールされます。

OS※1	Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 32ビット日本語版 Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 64ビット日本語版※2 Microsoft® Windows Vista® Business SP2 32ビット日本語版 Microsoft® Windows Vista® Business SP2 64ビット日本語版※2 Microsoft® Windows® XP Professional SP3 日本語版
CPU	上記OSおよびMicrosoft® .NET Framework 4.0で推奨されているCPUを搭載しているPCであること
メモリー	上記OSおよびMicrosoft® .NET Framework 4.0で推奨されているメモリーを搭載しているPCであること
CD-ROMドライブ	本ソフトウェアのインストール時に必要です。
ハードディスク容量	本ソフトウェアのインストール用として100 MBの容量が必要です。 本ソフトウェアを使用するためには、Microsoft® .NET Framework 4.0が必要です。インストールされていない場合は、インストール時に1.5 GBの容量が必要です。
ディスプレイ	1024 x 768以上の解像度 True Color（24ビット）以上の色数
インターフェース	RS-232C端子またはUSB端子（別売のUSB/RS-232C変換ケーブルが必要です。）※3
その他	Adobe® Reader®（各種取扱説明書（PDFファイル）を閲覧するため）

※1　本ソフトウェアは、Microsoft® Windows® 7、Microsoft® Windows Vista®、Microsoft® Windows® XPのデフォルトのスタイルおよびフォントサイズでデザインされています。スタイルまたはフォントサイズを変更する場合は、十分ご注意ください。
※2　WOW64（32ビット互換モード）で動作します。
※3　USB/RS-232C変換ケーブルの推奨品については、販売店にお問い合わせください。

重要

- 本ソフトウェアのインストールおよび起動は、「コンピューターの管理者」権限のあるユーザーが行ってください。管理者以外のユーザーがインストールした場合またはインストールした管理者以外のユーザーが起動した場合の動作は保証いたしません。
- 複数のアプリケーションと同時に本ソフトウェアを動作させた場合、CPUやメモリーなどの資源不足により、動作が不安定になる場合があります。負荷の高いアプリケーションと同時に使用しないでください。また、本ソフトウェアは同時に複数起動することはできません。
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Editionには対応していません。

商標および登録商標について

- Adobe、Acrobat Reader及びAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 32ビット日本語版、Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 64ビット日本語版をWindows 7と表記しています。
- Microsoft® Windows Vista® Business SP2 32ビット日本語版、Microsoft® Windows Vista® Business SP2 64ビット日本語版をWindows Vistaと表記しています。
- Microsoft® Windows® XP Professional SP3 日本語版をWindows XPと表記しています。

著作権について

- 本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

免責について

弊社は、いかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
①本製品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
②お客様の故意や誤使用、不注意による障害または本商品の損傷など
③お客様による本商品の逆コンパイル、逆アセンブルが行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
④PCに保存された設定データの消失あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど

もくじ

はじめに

準備・操作

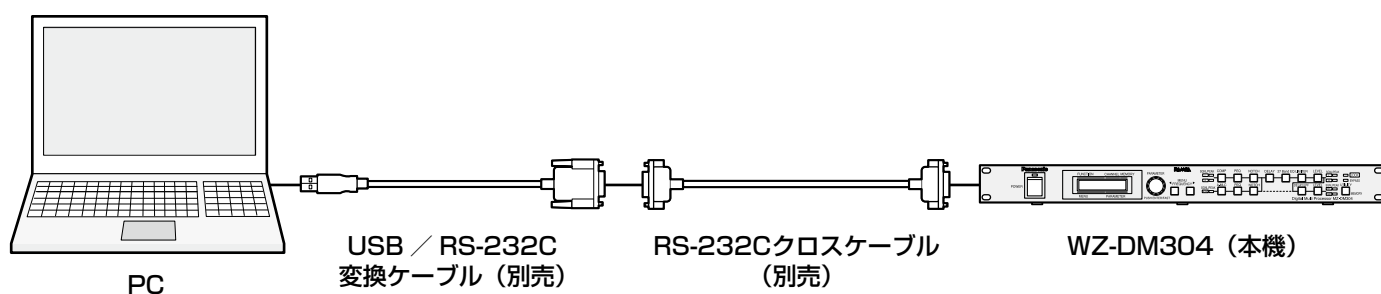
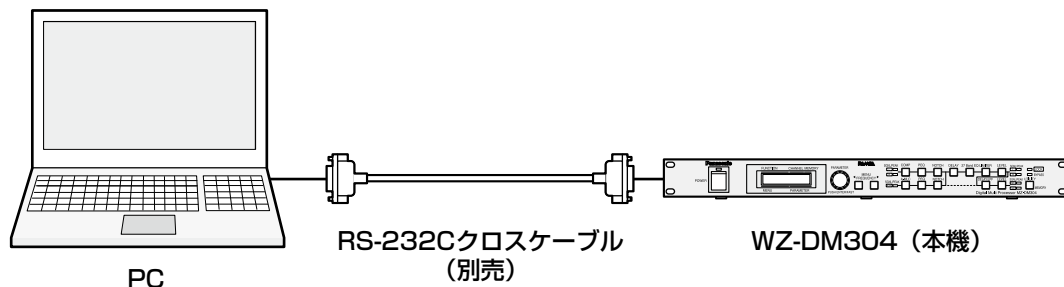
その他

インストール・アンインストールのしかた

本体の取扱説明書を参照ください。

接続する

PCと本体を接続します。

（1）PCにUSB端子がある場合

（2）PCにRS-232C端子がある場合

■USB/RS-232C変換ケーブルの推奨品については販売店にご確認ください。本体のピン配列については、本体の取扱説明書を参照ください。

起動する

本ソフトウェアを起動します。PC起動後の画面から説明します。

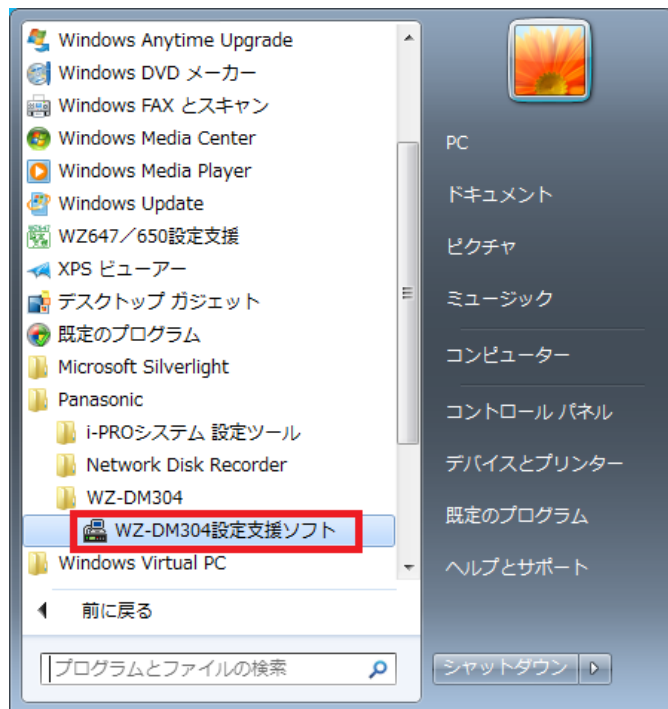
STEP1

スタートメニューの［スタート］－［すべてのプログラム］－［Panasonic］－［WZ-DM304］－［WZ-DM304設定支援ソフト］をクリックします。
→本ソフトウェアが起動し、画面が表示されます。

重要

- インストール時にコピーされるファイルを編集、削除、移動しないでください。本ソフトウェアが正常に動作しなくなります。
- 起動して画面が表示されるまでに30秒程度かかることがあります。

メモ

- インストール時、デスクトップ上に作成されるショートカットアイコンをダブルクリックして起動することもできます。

終了する

本ソフトウェアを終了します。

STEP1

メニューバーの［ファイル(F)］－［閉じる(C)］をクリックします。
→未保存のデータがある場合、保存を確認する画面が表示されます。

メモ

- PCがスリープ状態やスタンバイ状態になると、PCと本体間の通信が途切れることがあります。PCが自動的にスリープ状態やスタンバイ状態にならないように設定してください。
設定方法はPCの取扱説明書をご参照ください。

画面説明

項番	項目	内容	
(1)	タイトルバー	●本ソフトウェア名称を表示します。 ●現在開いている設定データファイル名を表示します。	
(2)	メニューバー	ファイル(F)	設定データファイルに関する操作を行います。 新規作成(N)　　　：設定データファイルを新規に作成します。 開く(O)　　　　　：保存している設定データファイルを開きます。 上書き保存(S)　　：現在の設定を設定データファイルに上書き保存します。 名前をつけて保存(A)：現在の設定を新規の設定データファイルに保存します。 CSV出力(V)　　　：設定データ一覧をCSVファイルとして出力します。 閉じる(C)　　　　：本ソフトウェアを終了します。
		機能(C)	パターンメモリーリード／ライトや本体のプリノッチ測定・バイパス操作・本体ロック操作を行います。
		設定(S)	RS-232C用通信ポートのCOM番号を設定します。
		その他(O)	本体バージョンおよび本ソフトウェアに関する表示を行います。
(3)	オンライン／オフライン表示	オンライン時に「Online」、オフライン時に「Offline」と表示されます。	
(4)	切換ボタン	オンライン・オフラインを切り換えます。オンライン時は「Disconnect」、オフライン時は「Connect」と表示されています。	

画面説明（つづき）

項番	項目	内容
(5)	バイパス・本体ロック表示	本体のバイパス機能・ロック機能の設定状態が表示されます。 ロック状態であっても本ソフトウェアからの設定操作は可能です。
(6)	パターンメモリー番号表示	オンライン中にパターンメモリーリードおよびライトしたパターンメモリー番号が表示されます。パターンメモリーリードおよびライトの実行後に設定を変更すると、パターンメモリー番号の右側に「#」を表示します。
(7)	系統図	「COMP」や「PEQ」など系統図上のボタンをクリックすると、(8) 表示・設定欄に該当する設定画面を表示します。[ON] に設定されているとき緑色点灯します。
(8)	表示・設定欄	(7) 系統図で選択しているボタンの設定内容を表示します。 ●オフラインの場合は、本ソフトウェア上のデータを設定・表示します。 ●オンラインの場合は、本体の現在の音声設定内容を表示します。本ソフトウェア上で設定を変更すると、同時に本体にも反映します。

メモ

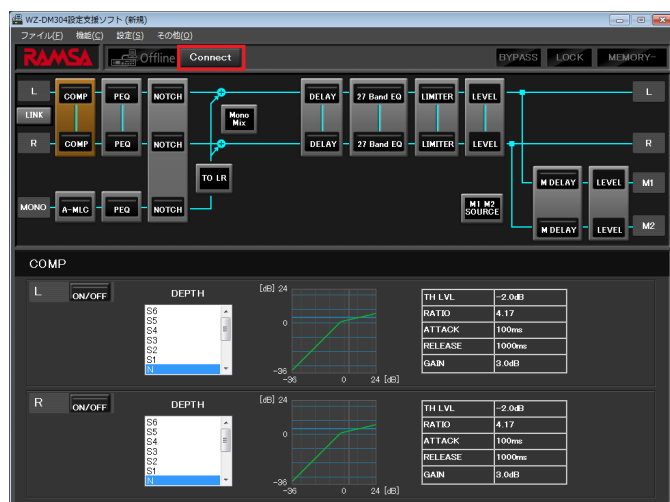
●オフラインとは、本ソフトウェアが単独で動作している状態を表します。オフライン時は、本体との通信は行いませんので、PCだけで設定データを確認・修正することができます。
●オンラインとは、本ソフトウェアと本体が設定データを同期している状態を表します。オンライン時は、本ソフトウェアでの設定を変更すると、本体に反映され、音声処理・系統を更新します。
●オフライン・オンラインでできる操作については、13ページの応用編を参照ください。

基本編

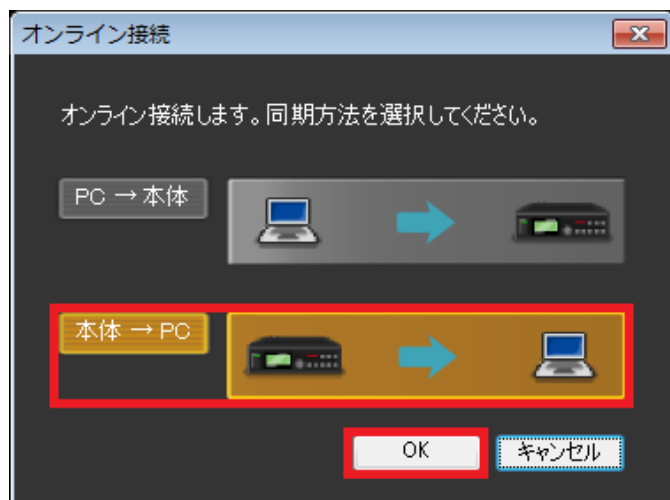
基本編では、本体の設定データをバックアップする方法と設定データを復元する方法を説明します。
（1）本体の設定データを、本ソフトウェアで受信してファイルとして保存します。
（2）本ソフトウェアの設定データファイルを読み込んで本体へ送信します。

設定データの受信および保存

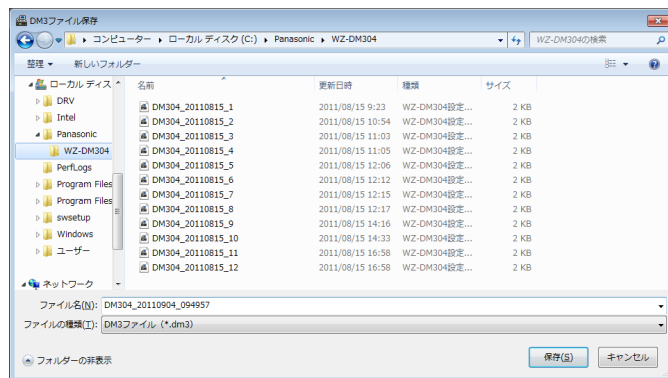
STEP1

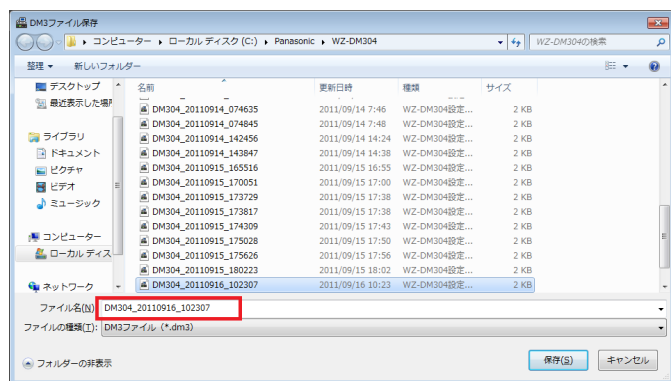
オフライン中であれば、オンラインにします。
切換ボタン（Connect）をクリックすると、オンライン接続画面が表示されます。

STEP2

「本体→PC」を選択して、「OK」をクリックします。
→本体から設定データを受信します。

メモ

- あらかじめ、本体とPCを通信ケーブルで接続してください。接続方法は本体の取扱説明書を参照ください。
- 本体から受信時、自動的にC:¥Panasonic¥WZ-DM304フォルダー（CドライブにWindowsがインストールされている場合）に受信データを保存します。
- オンライン中は通信ケーブルを抜かないでください。

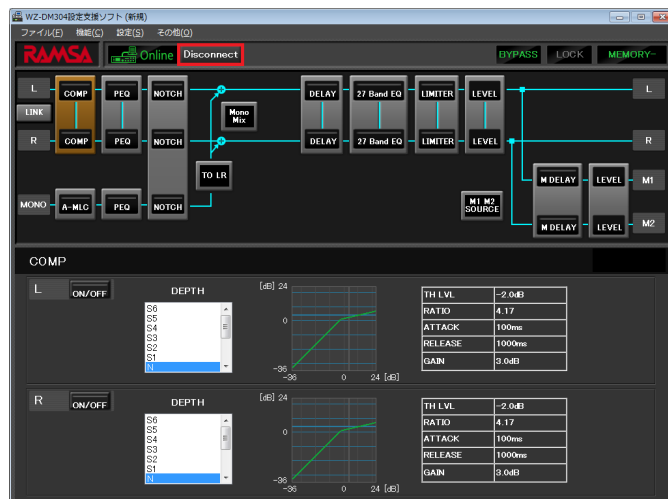
STEP3

メニューバーの［ファイル(F)］－［名前をつけて保存(A)］をクリックします。
→「DM3ファイル保存」ダイアログが表示されます。

STEP4

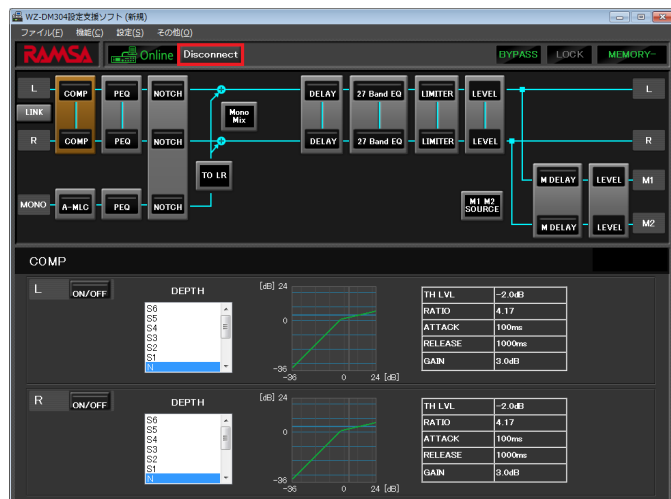
適切なファイル名をつけて保存します。
はじめに「DM304_yyyyMMdd_hhmmss.dm3」というファイル名が入力されています。（yyyyMMddはPCの日付（年月日）hhmmssはPCの時刻（時分秒））
ファイル名を変更することもできます。
「保存(S)」をクリックすると保存されます。

メモ

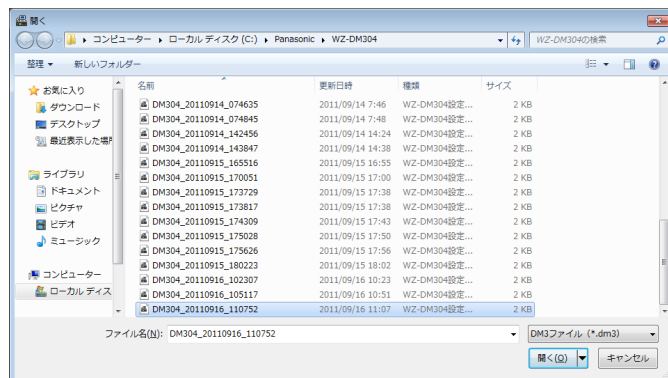
●拡張子は必ずdm3としてください。変更すると読み込むことができなくなります。

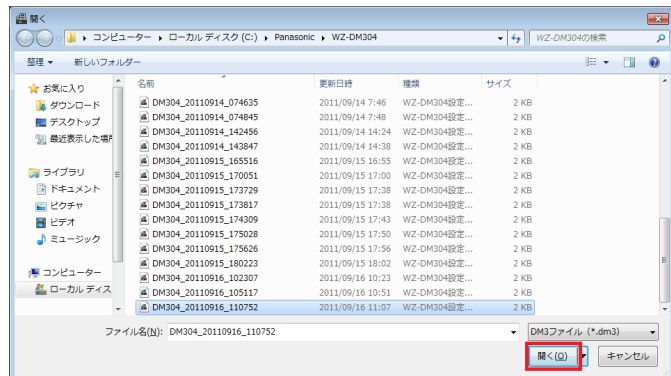
STEP5

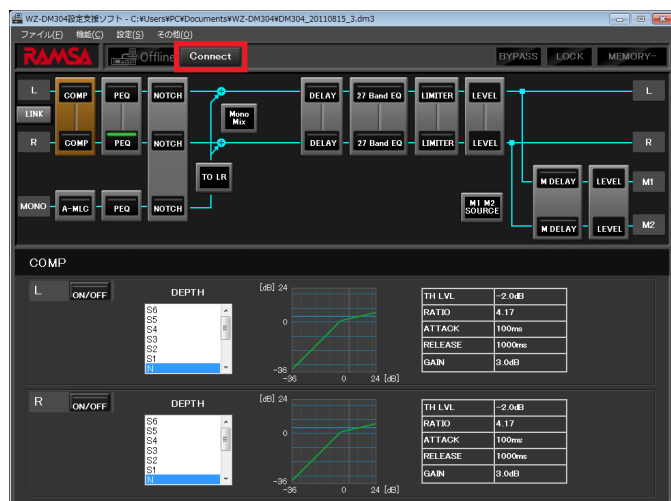
オフラインにします。
切換ボタン（Disconnect）をクリックしてオフラインにします。

設定データの読込および送信

STEP1

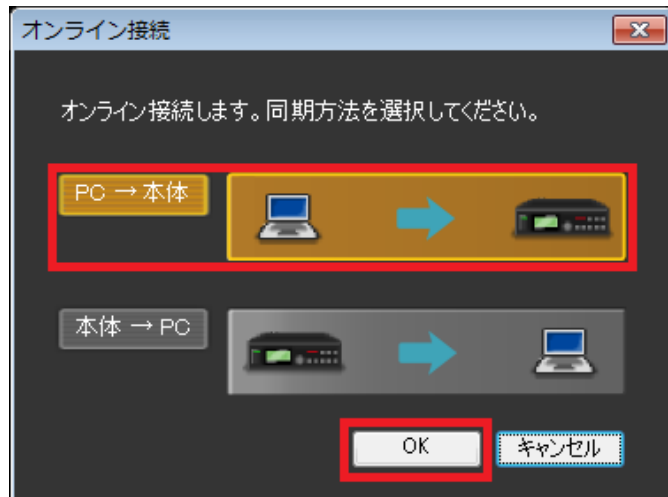
オンライン中であれば、オフラインにします。
切換ボタン（Disconnect）をクリックすると、オフラインになります。

STEP2

メニューバーの［ファイル(F)］－［開く(O)］をクリックします。
→「開く」画面が表示されます。

STEP3

読み込む設定データファイルを選択し、［開く(O)］をクリックします。

STEP4

切換ボタン（Connect）をクリックします。
→オンライン接続画面が表示されます。

STEP5

「PC→本体」を選択して、「OK」をクリックします。
→本体へ設定データを送信します。

メモ

- ●あらかじめ、本体とPCを通信ケーブルで接続してください。接続方法は本体の取扱説明書を参照ください。
- ●オンライン中は通信ケーブルを抜かないでください。

注意　本体音声出力のミュートについて

●以下の操作を行うと本体の音声出力は一時的にミュートされ、スピーカーから出力されなくなります。

- • PC→本体の設定データの送信時
- • LINKをON設定時
- • パターンメモリーリード時

応用編

オンラインとオフラインについて

オンラインは本体と接続している状態で、本ソフトウェアから本体を遠隔操作することができます。オフラインとは本体と接続していない状態で、設定データの編集のみ実施できます。
本ソフトウェアを起動するとまずオフラインで起動します。このとき本ソフトウェアで表示されるデータは初期状態であり、本体の設定データと同期していません。
オンラインへ移行するためには、本体と本ソフトウェアの設定データを同期する必要があります。同期は本体からの受信または本体への送信により行います。
オンライン時、オフライン時に可能な操作は下表の通りです。

種別	操作	オンライン	オフライン
本体連携	設定データの受信	○	○ *1
	設定データの送信	○	○ *1
	パラメーター設定	○	×
	プリノッチ測定	○	×
	バイパス操作	○	×
	本体ロック操作	○	×
本ソフトウェア単独	設定データの読込	×	○
	設定データの保存	○	○
	設定データのCSV出力	○	○
	通信ポート設定	×	○

*1の操作を行うと、オフライン→オンラインになります。

注意　オンライン時の本体での操作・パターン制御

●オンライン中は本体ディスプレイに「REMOTE」と表示され、本体での操作、パターン制御による設定の変更は無効になり、本ソフトウェアでの操作のみが有効になります。

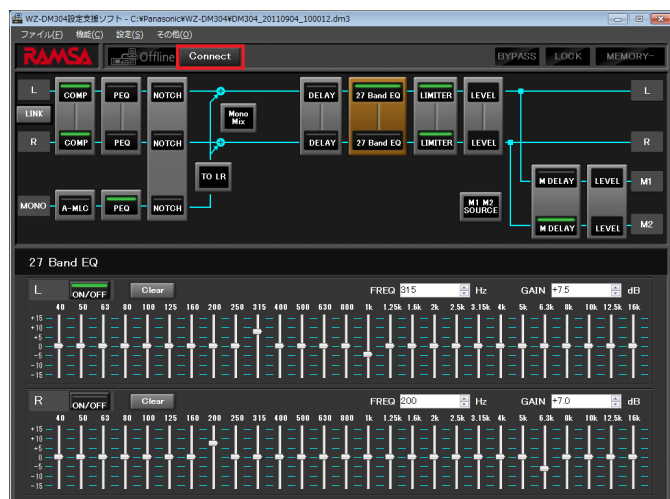
メモ

●本体との接続状態に応じて、オンライン／オフライン表示を以下のように表示します。
オンライン時：Online（緑色）
オフライン時：Offline（灰色）

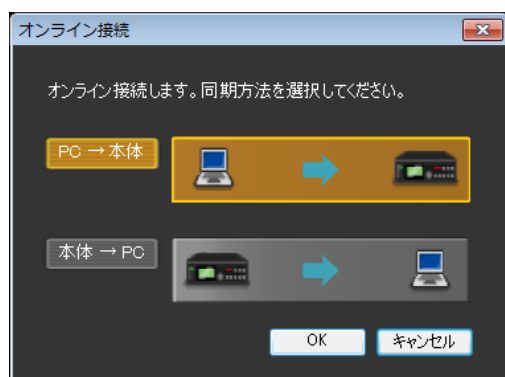
オンラインへの移行

STEP1

オンラインにします。
切換ボタン（Connect）をクリックすると、オンライン接続画面が表示されます。

メモ

●あらかじめ、本体とPCを通信ケーブルで接続してください。接続方法は本体の取扱説明書を参照ください。

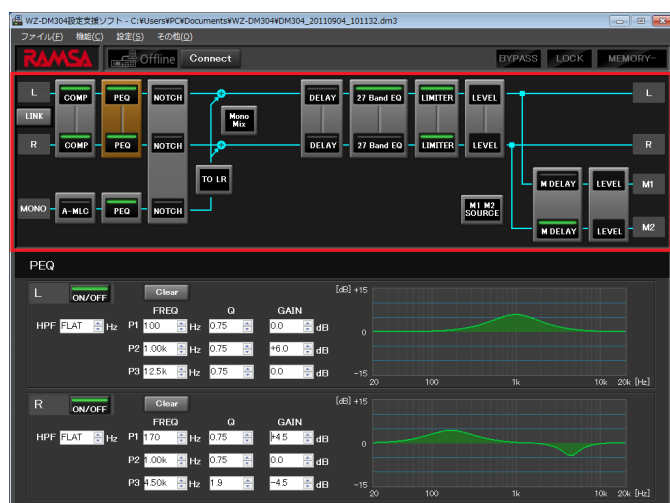
STEP2

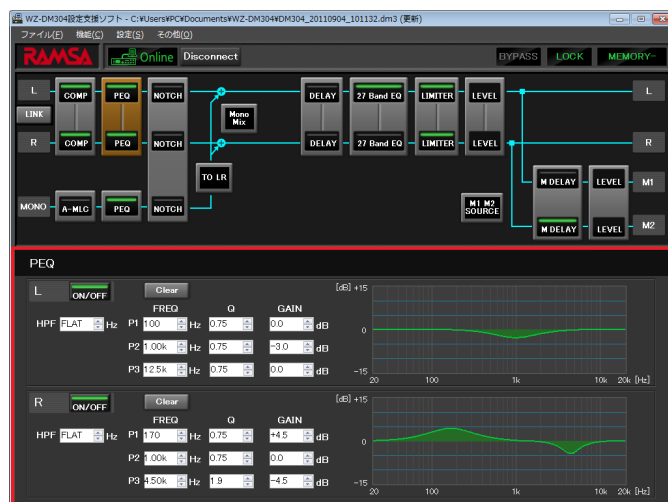
「本体→PC」あるいは「PC→本体」を選択して、「OK」をクリックします。

メモ

●「本体→PC」を選択した場合は、本体の設定データを本ソフトウェアに反映します。
●「PC→本体」を選択した場合は、本ソフトウェアの設定データを本体に反映します。

パラメーター設定

STEP1

系統図のボタンを選択します。
→表示・設定欄に、選択したボタンの設定内容を表示します。
各ボタンの設定内容については、「画面一覧」（☞20 ～ 21ページ）を参照ください。
＜例：PEQ＞

STEP2

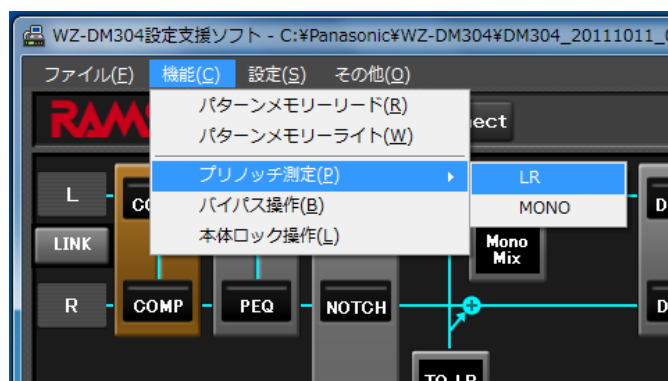
表示・設定欄でパラメーターを変更します。
→オンライン時は、パラメーターを変更すると、本体へパラメーター変更を送信し音声処理に反映します。
＜例：PEQ＞

プリノッチ測定

プリノッチとは、設置時などに強制的にハウリングを起こして、その周波数にあらかじめノッチフィルター（狭い周波数のみを除去するフィルター）を設定し、ハウリングを起きにくくする機能です。
本ソフトウェアから本体のプリノッチ機能を実行することができます。プリノッチの測定結果は各チャンネルのPEQに反映されます。

STEP1

メニューバーの［機能(C)］－［プリノッチ測定(P)］－［LR］または［MONO］をクリックします。
→本体がプリノッチ測定を開始します。本体が測定を終了すると本ソフトウェアは測定完了画面を表示します。

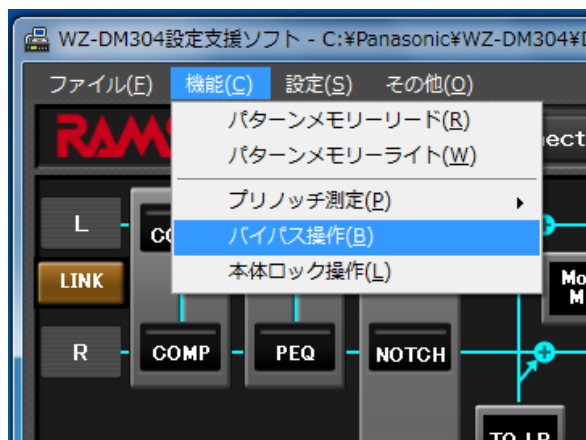
LR　　：L入力、R入力のプリノッチ測定を行います。
MONO：MONO入力のプリノッチ測定を行います。

メモ
●本機能はオンライン時のみ有効です。

バイパス操作

すべてのプロセッサー機能を無効にします。本体に音声を流し、プロセッサー機能を設定した効果を確認するときに使用します。

STEP1

メニューバーの［機能(C)］－［バイパス操作(B)］をクリックします。

→バイパスの「ON/OFF」を切り換えるかどうか確認する画面を表示します。「OK」をクリックすると本体のバイパスの「ON/OFF」を切り換えます。

メモ

- 「バイパス ON」にしても、「LEVEL」の効果は有効です。
- 本機能はオンライン時のみ有効です。
- オンライン時、バイパス表示を以下のように表示します。
  - バイパスON時 ：緑色で表示します。
  - バイパスOFF時：灰色で表示します。

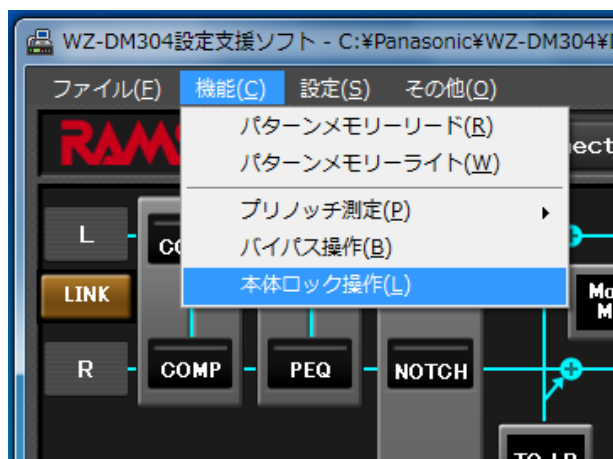
本体ロック操作

ロック機能を有効にすると、オフライン移行後に本体で行う各種設定操作が無効になります。
本ソフトウェアから、本体のロック機能の設定を行うことができます。

STEP1

メニューバーの［機能(C)］－［本体ロック操作(L)］をクリックします。

→ロック機能が有効になります。ロック機能を無効にするときは、［機能(C)］－［本体ロック操作(L)］を再度実行してください。

メモ

- 本機能はオンライン時のみ有効です。
- 本体をロック状態にしても、本ソフトウェアからの操作は有効です。
- オンライン時、本体ロック表示を以下のように表示します。
  ロック機能有効時：緑色で表示します。
  ロック機能無効時：灰色で表示します。

パターンメモリーリード

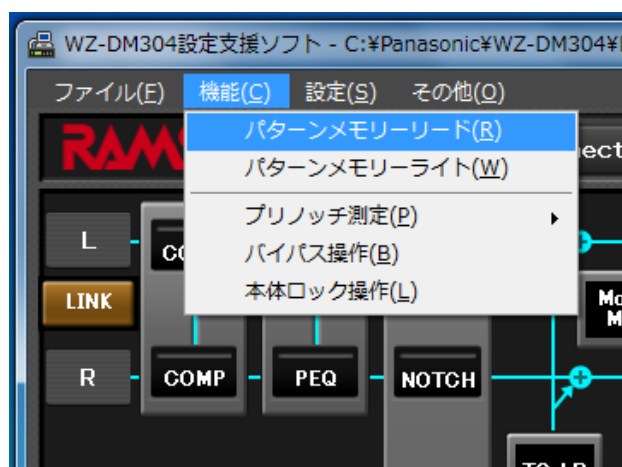
パターンメモリーに保存してある設定内容を読み出します。パターンメモリーを読み出すことで、入出力の経路と全プロセッサー機能の調整結果を一斉に切り換え、設置会場の運用に応じた設定変更が可能です。パターンメモリーを最大8パターンまで保存しておくことができます。

メモ

●オンライン時にパターンメモリーリードを行うと、本体の音声出力は一時的にミュートされ、スピーカーから出力されなくなります。このため運用中に音を止めずに切り換える用途には使用できませんのでご注意ください。

STEP1

メニューバーの［機能(C)］－［パターンメモリーリード(R)］をクリックします。

→読み出すパターンメモリー番号を選択する画面を表示します。

STEP2

読み込むパターンメモリー番号を選択して、「OK」をクリックします。

→パターンメモリーを読み出します。

パターンメモリーライト

現在設定している内容をパターンメモリーに保存します。保存したパターンメモリーは、パターンメモリーリードで読み出すことができます。
パターンメモリーを最大8パターンまで保存することができます。

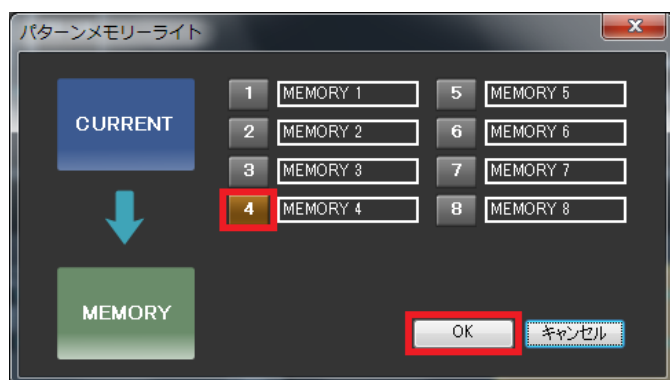
STEP1

メニューバーの［機能(C)］－［パターンメモリーライト(W)］をクリックします。
→保存するパターンメモリー番号を選択する画面を表示します。

STEP2

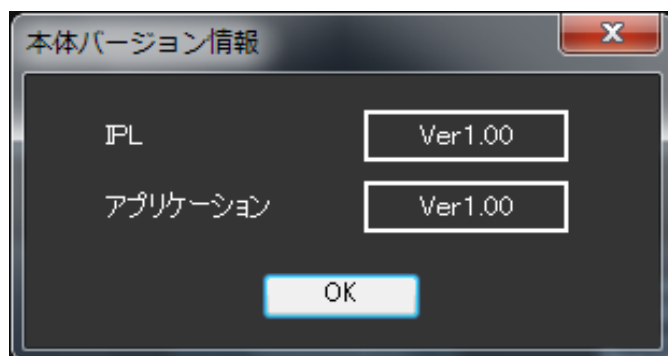
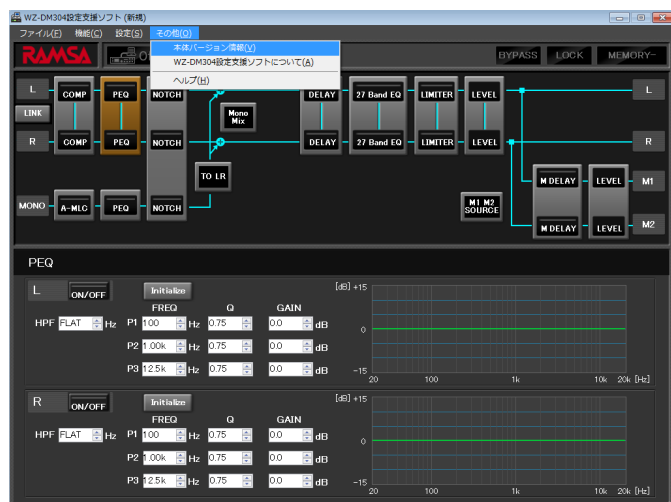
保存するパターンメモリー番号を選択して、「OK」をクリックします。
→名称を設定して、パターンメモリーへ保存します。

メモ

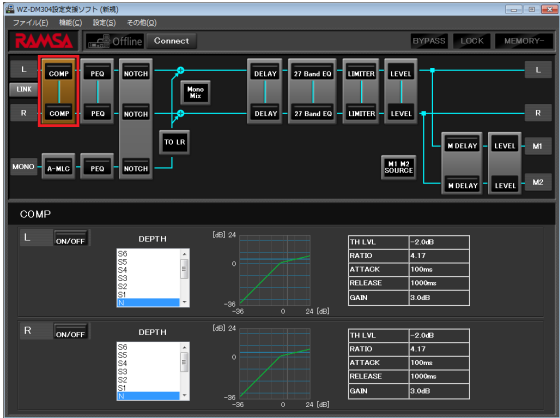
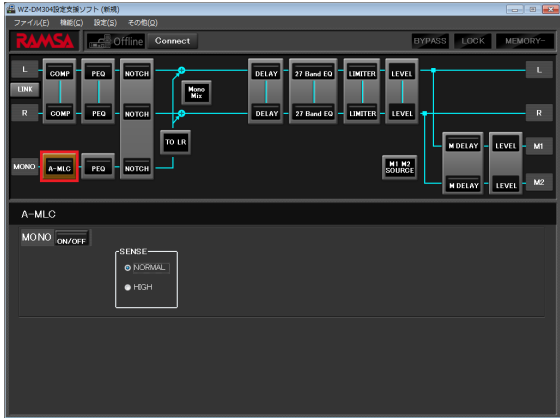
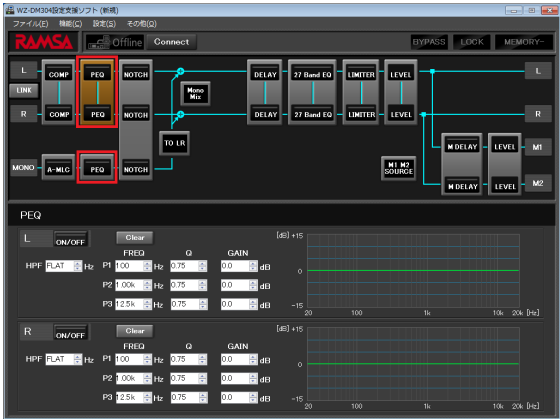
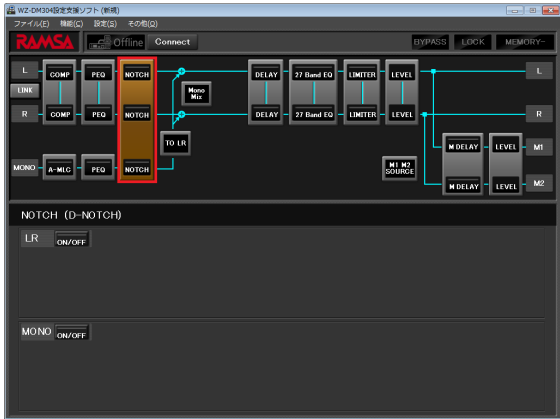
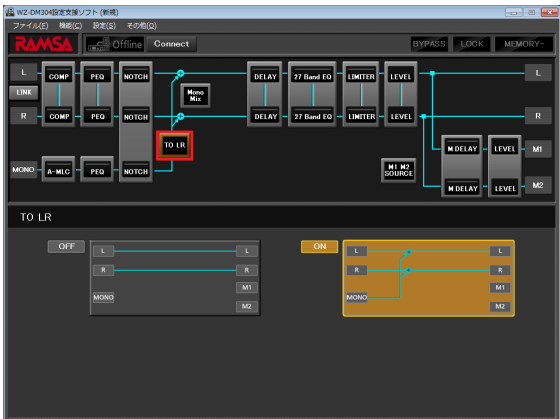
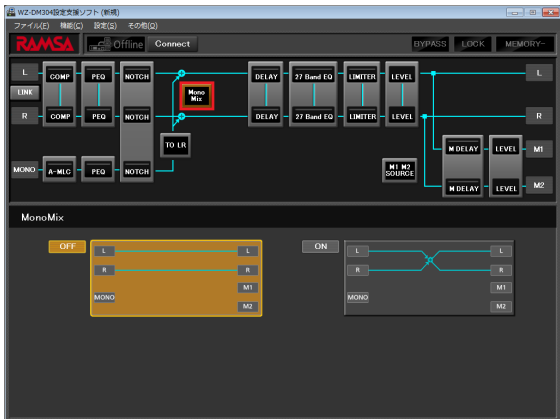
- パターンメモリーに設定する名称は、本体に表示されませんのでご注意ください。
- パターンメモリー名称に使用できる文字は最大8文字までで、半角文字のみです。英大文字：A～Z、英小文字：a～z、数字：0～9、空白のほかに以下の記号を使用できます。
  !"# $% &'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_` {|}

本体バージョン表示

STEP1

メニューバーの［その他(O)］－［本体バージョン情報(V)］をクリックします。

→本体で動作中のソフトウェアバージョンを表示します。

通信ポート設定

STEP1

メニューバーの［設定(S)］－［通信ポート設定(C)］をクリックします。

→通信ポート設定画面を表示します。PCで使用可能な通信ポート番号（COM）のみが選択可能です。
RS-232C接続するCOM番号を選択してください。

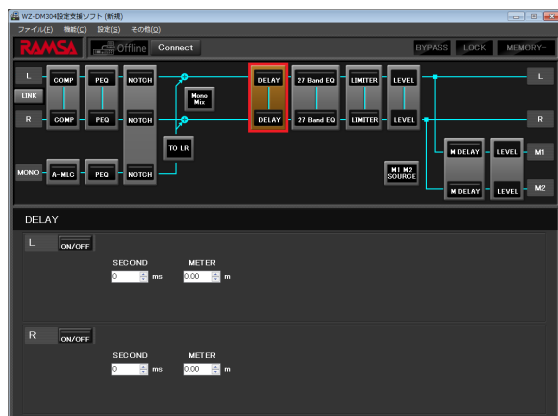
画面一覧

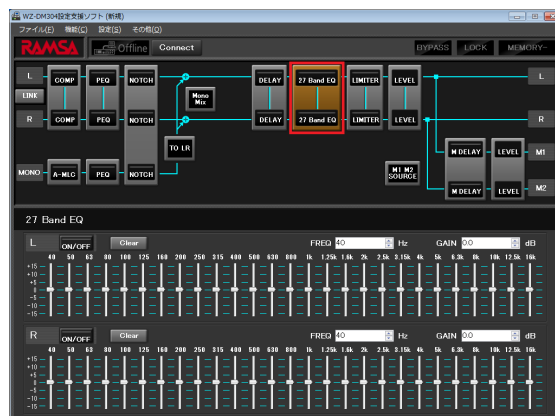
系統図上の各ボタンを選択時の表示・設定欄の内容は以下のようになります。なお、<LR><MONO><M1/M2>は、設定できるチャンネルを示しています。各機能の詳細は本体の取扱説明書を参照してください。

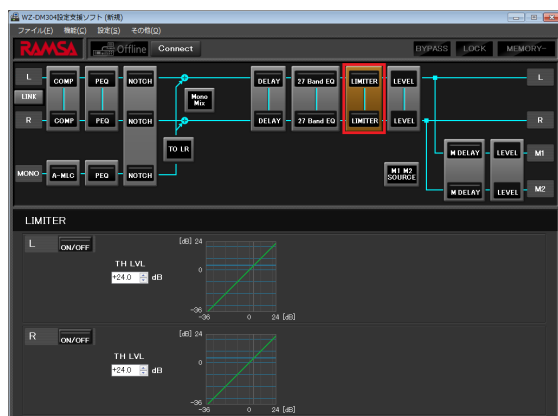
COMP <LR>	A-MLC <MONO>
コンプレッサー機能の設定を行う場合に使用します	オートマイクレベルコントローラー機能の設定を行う場合に使用します
PEQ <LR><MONO>	**NOTCH <LR><MONO>**
パラメトリックイコライザー機能の設定を行う場合に使用します	ハウリングサプレッサー機能の設定を行う場合に使用します
TO LR	**MonoMix**
モノラル入力をLR出力にミキシングする場合に使用します	すべてのスピーカーでモノラル拡声する場合に使用します

画面一覧（つづき）

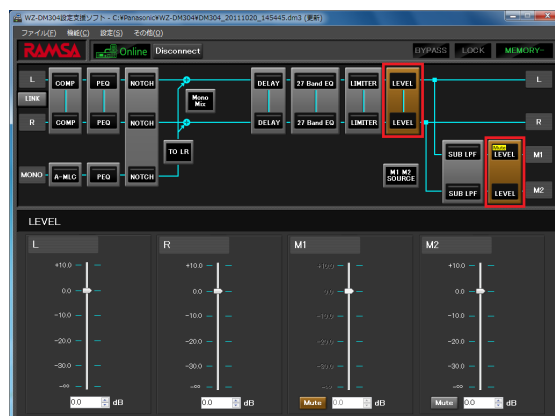
DELAY <LR>

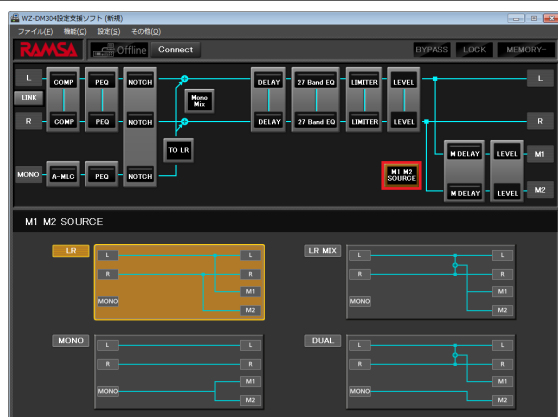
ディレイ機能の設定を行う場合に使用します

27 Band EQ <LR>

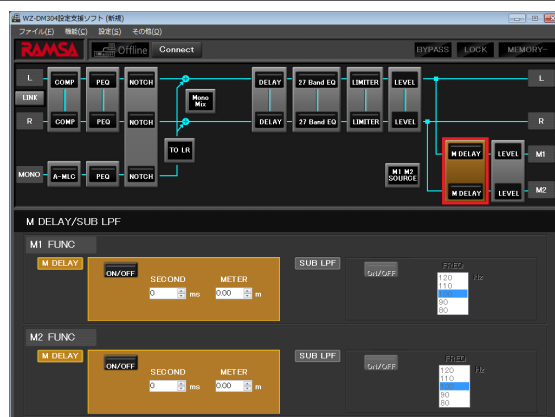
27バンドイコライザー機能の設定を行う場合に使用します

LIMITER <LR>

リミッター機能の設定を行う場合に使用します

LEVEL <LR><M1/M2>

出力レベルの設定を行う場合に使用します

※Muteボタンはオンライン時マルチ出力（M DELAY/SUB LPFでSUB LPFを選択しているときのみ）で使用可能です。

M1 M2 SOURCE <M1/M2>

マルチ出力の音声入力系統を切り換える場合に使用します

M DELAY / SUB LPF <M1/M2>

マルチ出力の機能の設定を行う場合に使用します

注意　Muteボタンについて

● MuteはM1またはM2のLEVELを一時的に−∞dBにする機能です。
Muteは、音響調整時にサブウーハーへの音声出力を停止して、LR出力の音声を確認するときに使用します。
MuteボタンをONにしたまま本体の電源を切ると、出力レベルが−∞dBとして記録され、次回電源投入時にM1またはM2の音声が出力されません。
音声を出力させるためには、M1またはM2の出力レベルを元の値に戻す必要があります。本体を操作して出力レベルを適切な値に設定するか、本ソフトウェアから設定データを送信してください。

メモ

● 本ソフトウェアで保存する設定データには、Muteは含まれず元のLEVEL値が保存されます。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現　象	原　因　・　対　策	参照ページ
本ソフトウェアから本体にアクセスできない	● 通信ケーブルは正しく接続されていますか? 通信ケーブルを正しく接続してください。	本体 取扱説明書
	● USB/RS-232C変換ケーブルをご使用の場合は、正しいドライバーソフトをPCへインストールしていますか? USB ／ RS-232C変換ケーブルの取扱説明書をお読みください。	―
	● 本体の起動処理が完了していますか? 本体の画面で確認してください。	―
	● 本体がエラー表示していませんか? 本体の画面で確認してください。	本体 取扱説明書
	● 通信ポート設定は正しいですか? 通信ポートの設定および通信ケーブルの接続を確認してください。	19
本ソフトウェアが突然終了してしまう	● USB ／ RS-232C変換ケーブルをご使用の場合、USBコネクターが抜けていませんか? USBコネクターを正しく接続して、再度本体との通信を行ってください。	―

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル 0120-878-410（パナハ ヨイワ）　受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
携帯・PHS OK
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687　東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

PGQP1119ZA
Nd0911-0